

DRUG

INFORMATION



2010 No. 24

平成22年9月16日発行

経口配合剤のオーダ名変更について

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

経口配合剤のオーダ名変更について

最近、経口の降圧剤をはじめ数多くの配合剤が販売されるようになり、当院においても院内採用品あるいは院外専用品として処方されるようになってきています。これらの配合剤の多くは同一成分で複数規格の品目が採用されていますが、これらを区別するための表記には、通常の錠剤等の名称にある「100mg」のような含量表記ではなく、「LD」・「HD」や「MD」・「EX」のような記号表記となっており、配合成分の含量が非常に分かりにくい表記となっております。これは、処方時の医師の負担にもなっていると考えられます。

そこで、既に当院では Ca 拮抗剤と HMG-CoA 還元酵素阻害剤の配合剤である「カデュエット配合錠」についてはオーダ名にその配合成分の頭文字と含量数値を併記しています（例：カデュエット配合錠 3 番 (AM5/AT5)）が、本例に習い他の経口配合剤についても表記を変更することと致します。次ページに、各配合剤の変更後のオーダ名と各成分を一覧にしましたのでご確認下さい。

オーダ名の変更は 9 月 22 日(水)からと致します。なお、今回の変更はオーダ画面上の薬品名の表記変更であり、院外処方箋等の他の薬品名の表記は変更しませんのでご注意下さい。

ご不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）までご連絡下さい。

Ca拮抗剤・HMG-CoA還元酵素阻害剤配合剤

カデュエット配合錠 3 番 (AM5/AT5)	アムロジピンベシル酸塩 5mg、アトルバスタチンカルシウム水和物 5mg
カデュエット配合錠 4 番 (AM5/AT10)	アムロジピンベシル酸塩 5mg、アトルバスタチンカルシウム水和物 10mg

ARB・利尿剤配合降圧剤

プレminent配合錠 (L50/H12.5)	ロサルタンカリウム 50mg、ヒドロクロロチアジド 12.5mg
エカード配合錠 L D (C4/H6.25)	カンデサルタンシレキセチル 4mg、ヒドロクロロチアジド 6.25mg
エカード配合錠 H D (C8/H6.25)	カンデサルタンシレキセチル 8mg、ヒドロクロロチアジド 6.25mg
コディオ配合錠 M D (V80/H6.25)	バルサルタン 80mg、ヒドロクロロチアジド 6.25mg
コディオ配合錠 E X (V80/H12.5)	バルサルタン 80mg、ヒドロクロロチアジド 12.5mg
ミコンビ配合錠 A P (T40/H12.5)	テルミサルタン 40mg、ヒドロクロロチアジド 12.5mg
ミコンビ配合錠 B P (T80/H12.5)	テルミサルタン 80mg、ヒドロクロロチアジド 12.5mg

ARB・Ca拮抗剤配合降圧剤

エックスフォージ配合錠 (V80/A5)	バルサルタン 80mg、アムロジピンベシル酸塩 5mg
レザルタス配合錠 L D (O10/A8)	オルメサルタンメドキシミル 10mg、アゼルニジピン 8mg
レザルタス配合錠 H D (O20/A16)	オルメサルタンメドキシミル 20mg、アゼルニジピン 16mg
ユニシア配合錠 L D (C8/A2.5)	カンデサルタンシレキセチル 8mg、アムロジピンベシル酸塩 2.5mg
ユニシア配合錠 H D (C8/A5)	カンデサルタンシレキセチル 8mg、アムロジピンベシル酸塩 5mg

チアゾリジン系・ビグアナイド系配合糖尿病治療剤

メタクト配合錠 L D (P15/M500)	ピオグリタゾン塩酸塩 15mg、メトホルミン塩酸塩 500mg
メタクト配合錠 H D (P30/M500)	ピオグリタゾン塩酸塩 30mg、メトホルミン塩酸塩 500mg

注) 今後、同様の経口配合剤が採用された場合も同じ表記法とします。